

# 健康福祉常任委員会

## 13 議案 可決

各種の福祉施策や子育て支援、高齢者支援、健康づくり、消防に関する事などの議案等を審査しています。

### 行田市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例

**問** 南河原学童保育室は、現在、小学校敷地に隣接しており、不便はあまり感じられないが、南河原小学校内に移転するのはなぜか。

**答** 南河原学童保育室は、将来的には学校との統合を予定していた施設であり、学校との調整がついたことから、校舎内へ移転しようとするものである。これにより、児童が移動する際の安全性及び利便性がともに向上するものと考え

えている。

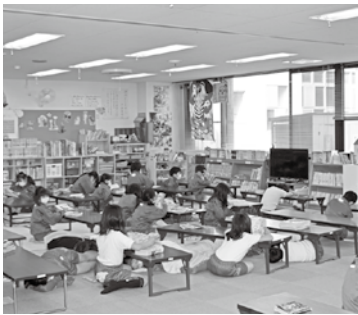
**問** 太田西学童保育室が太田学童保育室に変更することだが、太田東小学校の児童はどう変わるのか。また、定員は不足しないのか。

**答** 太田東小学校の児童については、現在、送迎支援の仕組みを使い、太田西学童を利用しているため、学校が再編成されると、その移動の必要がなくなる。また、太田学童保育室に受け入れる児童の数は再編成によっても変更ないため、現在の定員で対応可能である。

### 令和4年度行田市国民健康保険事業費特別会計予算

**問** 生活習慣病のリスクを早期に発見するために実施される特定健診について、令和3年度から対象者は無料で受けられるようになったが、受診の促進に効果はあったのか。

**答** 令和2年度1月末現在の受診率は15・9%で、令和3年1月末現在の受診率は18・



南河原学童保育室の様子

4%であった。比較すると、5%受診率が向上しており、受診率向上に効果があったと考えられる。なお、令和4年度も引き続き特定健診無料化を実施する予定である。

### 令和4年度行田市介護保険事業費特別会計予算

**問** 介護人材確保促進事業委託について、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で参加者が定員に満たなかったとのことであるが、令和4年度に向けて何か工夫はするのか。

**答** 本事業は、県の補助金を活用して実施するもので、介護人材のすそ野を広げ、介護サービスを身近な人材で賄え

るような仕組みを構築するために、介護に関する入門的研修を実施し、そこから介護事業所への就労支援までを一体的に行う事業である。令和3年度は開催時期に、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大があったため、参加者が定員の半分ほどであったが、令和4年度は、参加者を増やすため、事業の周知を新たに工夫して行っていきたい。また、就労につなげられるような人材を確保できるよう委託事業者とも相談しながら、事業を進めていきたい。

### 令和4年度行田市一般会計予算

#### ○地域共生社会推進事業

**問** 充実した地域共生社会の実現を目指すということであるが、令和4年度はどのような事業を実施するのか。

**答** 市民の複合・複雑化した支援ニーズに対応するため、地域共生社会の実現に向けて、新たに実施する重層的支援体制整備事業への移行準備事業として、庁内の連携体制の構築のほか、関係機関を集めた多機関協働による支援体制の構築のため、ワークショップ

や研修会等を実施する予定である。

#### ○産後健康診査事業

**問** 本助成の対象となる健康診査はどのようなものか。また、助成の対象者と助成額は。

**答** 令和4年度から埼玉県との連携により開始する助成事業であり、県と市で費用を2分の1ずつ負担し、健診チケットにより1回5千円を本人に助成するものである。対象となる健診は、医療機関において産後つつ予防などを目的に実施するものである。

#### ○消防自動車購入

**問** 消防本署に配備するボート積載車と消防団に配備予定の消防車両は、どのような車両か。

**答** ボート積載車は、通常はボートを積載しており、水難事故等が発生した場合に出勤する車両となるほか、火災や大規模災害等が発生した際には、資機材等を積載し、資機材輸送車としての活用も可能である。また、消防団の車両については、機動第1分団に配備しようとするものであり、CD・1型の消防ポンプ車である。



健康福祉常任委員会委員